高等学校 令和6年度（１年次用）教科　　地理歴史　科目 地理総合

教　科：　地理歴史　　科　目：　地理総合　　2　単位

対象学年組：第　１年次　A　組～　D　組

教科担当者：（A～D組：飯塚）

使用教科書：（ 帝国書院　高等学校　新地理総合　　）

教科　地理歴史　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】社会生活に必要な社会的知識について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】社会生活における他者とのかかわりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり社会に対する関心を持ち、その能力の向上を図る態度を養う。

科目　地理総合　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な地理の知識や技能を身に付けている。	修得した知識をもとに自らの考えを深め、またその考えを他者に伝える。また、他者の考えを踏まえて自分の思考をさらに深める。	自らアンテナを張り社会的事項に関する情報を集め、取捨選択し他者とのコミュニケーションに活かす。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 単元「自然環境と防災」 【知識及び技能】日本の地形や気候について知り、災害の特徴や対策について基本的知識を学ぶ。【思考力、判断力、表現力等】地図やグラフなどの史料を読み取り、日本の置かれている状況を認識し今後の対策を考える。 【学びに向かう力、人間性等】情報と情報を対比させながら、情報を取捨選択する力の育成を図る。	【指導事項】 ・日本の地形や気候、地震などの災害について基本的知識を修得する。 ・地図やグラフの内容を正確に読み取り、そこで得た情報をもとに推論する力を育成する、レポート作成や話し合い、意見発表等を行う。 ・教材　教科書、地図帳、資料集など ・一人１台端末の活用　等	①我が国をはじめ世界でみられる自然災害や生徒の生活圏でみられる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解している。さまざまな自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的技能を身に付けている。②地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現している。③自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	B 単元「地球的課題と国際協力」 【知識及び技能】地球環境問題・人口食糧問題・エネルギー問題などの基本的知識を学ぶ。【思考力、判断力、表現力等】知識を踏まえ、日本と世界の状況を比較しながら問題の所在を探求し、今後の対策を考える。 【学びに向かう力、人間性等】様々な情報を取捨選択しながら、グループで協働して解決策を導き出す模索をする。	【指導事項】 ・地球環境問題・人口食糧問題・エネルギー問題ついて基本的知識を修得する。 ・地図やグラフの内容を正確に読み取り、そこで得た情報をもとに推論する力を育成する、レポート作成や話し合い、意見発表等を行う。 ・教材　教科書、地図帳、資料集など ・一人１台端末の活用　等	①世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解している。世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解している。②世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現している。③地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
2学期	C 単元「地図と地理情報システム」 【知識及び技能】地図の読図の基本的な知識方法を身に付ける。地理情報システムを用いて、自ら活用できる技能を身に付ける。【思考力、判断力、表現力等】読図・地理情報システムの活用から、得た情報をどのように表現するかを身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】情報と情報を対比させながら、情報を取捨選択する力の育成を図る。	【指導事項】 ・地図や地理情報システムをどのように活用できるか、またそこで得た情報をもとに推論する力を育成する、レポート作成や話し合い、意見発表等を行う。 ・教材　教科書、地図帳、資料集など ・一人１台端末の活用　等	①日常生活の中でみられるさまざまな地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解している。現代世界のさまざまな地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けている。②地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現している。③地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	D単元「結びつきを深める現代世界」 【知識及び技能】世界的視野から見た日本の立場、国内や国家間の結びつきなどについて、基本的知識を修得する。【思考力、判断力、表現力等】世界的視野から見た日本の立場、国内や国家間の結びつきなどについて、地図やグラフなどのを読み取り、日本の置かれている状況を認識する。 【学びに向かう力、人間性等】情報と情報を対比させながら、情報を取捨選択する力の育成を図る。	【指導事項】 ・世界的視野から見た日本の立場、国内や国家間の結びつきなどについて、現在の国際情勢を踏まえて、基本的知識を修得し考える枠組みを構築する。 ・地図やグラフの内容を正確に読み取り、そこで得た情報をもとに推論する力を育成する、レポート作成や話し合い、意見発表等を行う。 ・教材　教科書、地図帳、資料集など ・一人１台端末の活用　等	①現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きについて理解している。 ②現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現している。 ③現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
3学期	E単元「生活文化の多様性と国際理解」 【知識及び技能】世界の人々の生活文化についてそれぞれの特色が地理的環境の影響を受けていることを知り、それぞれの特徴について基本的知識を修得する。 【思考力、判断力、表現力等】世界の人々の生活文化についてそれぞれの特色について、比較の視点から差異について考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】情報と情報を対比させながら、情報を取捨選択する力の育成を図る。 F単元「生活圏の調査と地域の展望」 【知識及び技能】生活圏の調査をもとに、地理的な課題の解決に向けた取り組みや手法などについて、基本的知識を修得する。 【思考力、判断力、表現力等】地図やグラフなどの史料を読み取り、地域の置かれている状況を認識し今後の対策を考える。 【学びに向かう力、人間性等】情報と情報を対比させながら、情報を取捨選択する力の育成を図る。	【指導事項】 ・世界の人々の生活文化についてそれぞれの特色についての基本的知識を修得する。文化の多様性の意義について、現在の厳しい国際情勢を踏まえて考えさせる。 ・地図やグラフの内容を正確に読み取り、そこで得た情報をもとに推論する力を育成する、レポート作成や話し合い、意見発表等を行う。 ・教材　教科書、地図帳、資料集など ・一人１台端末の活用　等 【指導事項】 ・学校や住んでいる地域の調査をもとに、課題解決に向けた手法について基本的知識を修得する。 ・地図やグラフの内容を正確に読み取り、そこで得た情報をもとに推論する力を育成する、レポート作成や話し合い、意見発表等を行う。 ・教材　教科書、地図帳、資料集など ・一人１台端末の活用　等	①世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。②世界の人々の生活文化について、その生活文化がみられる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。③生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 ①生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取り組みや探究する手法などについて理解している。②生活圏の地理的な課題について、生活圏内や生活圏外との結び付き、地域の成り立ちや変容、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、課題解決に求められる取り組みなどを多面的・多角的に考察、構想し、表現している。③生活圏の調査と地域の展望について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	9 8
	定期考査			○	○		1
						計	70